

26 雲仙過疎地における移動手段の確保と、隠れた観光地発見プロジェクトによる観光振興

メンバー

実施者：長崎トヨペット株式会社

連携団体：雲仙市、雲仙市社会福祉協議会、雲仙市自治会長連合会、島原鉄道、地元タクシー業者(4社)
(株)アイシン、雲仙みらいかたる(株)、シティキャブ長崎、雲仙ゴルフ場

活動目的

以下を対象とした移動手段を同時に実現し、雲仙市の持続的発展を目指す
 ○地域住民…高齢者の健康維持/活性化の促進と、学生の通学
 ○観光客…確実&楽しい長崎市・長崎空港から雲仙へのルート, 市内周遊
 ※本レポートは地域住民の移動手段に限定

雲仙市：人口44,115人 高齢化率31.7%



活動実績：「チョイソコうぜん」による地域住民の移動支援事業

実施概要

※2022年3月末現在

1) 主な利用者・特徴	▶高齢者(70-80歳代)、特に女性が3/4強。時間帯は当初午前中に集中していたが、午後の利用者が増加傾向。
2) 主な目的地	▶病院とスーパー・農協が中心。
3) 運賃など利用者負担の形態	▶運賃200円/回 ※料金体系は当初より変わらず。
4) 走行区間	▶2区間 (国見-瑞穂、吾妻-愛野)

主な達成目標と実績

※地域住民

目標項目	達成状況の確認方法	2年後の最終目標 (助成終了時)	2年後の実績 (助成終了時)	目標と実績の差の理由
利用しやすいシステムの提供	利用者数	30人/日/台	月平均最大値 20人/日/台	1年目経過時に目標は25人/日/台に変更
スポンサーの確保	スポンサー契約数	12社	28社	目標達成
会員の確保	65歳以上の会員数	60%	79.2%(768/970名)	会員数増強にもっと拘りたい

事業で得た地域との関わり・知見

地域との関わり

1) 地域コミュニケーションづくり	▶チョイソコは協議会方式で運営。関連する事業者等との交渉はスムーズに運んだ。
2) 認知状況と受け入れ状況	▶会員数が着実に増加 (R2年10月：450人, R3/3：730人, R4/3：960) し、チョイソコは十分に認知され、利用されるようになった。
3) 本事業の効果	▶地域で暮らし生きることの喜びの発見・移動手段によるQOLの向上・外出機会の創出。

本事業を通じて得た知見

1) 導入方法実験手法の評価	▶雲仙市、地域内の事業者を交えた協議会方式で進めたことで事業が順調に推進できた。スポンサーを募る事で持続可能な事業へ。
----------------	---

事業継続について

1) 助成終了後の実施体制・方針の概要・役割	▶本年7月より雲仙市全体を4台のチョイソコ車両でカバーし、地域住民(特に高齢者)の外出を促進中。							
2) 実施体制	事業主体	・雲仙市 ・長崎トヨペット(株)	運行主体	雲仙市内のタクシー事業者(6-7社)	その他連携先	-	運行形態	事業用(緑ナンバー)
3) 継続時の利用方法・利用時間 / 予約方法 / 運賃等	チョイソコうぜん 運賃等 ▶1乗車200円、運行日時：月-土曜の午前9時~午後5時、事前電話予約要。							